

2025大学ラグビー コンプライアンスに関するアンケート

2025年7月31日
日本ラグビーフットボール協会
インテグリティ推進部門

大学ラグビーコンプライアンスアンケート概要

【期間】2025 年6月16日～7月6日（21日間）

【対象】JRFUに登録している全ての大学ラグビー部（計281チーム）

管理者、指導者、選手・スタッフ等の登録者（計8,690人）

【目的】大学ラグビー部におけるコンプライアンス状態と取り組み状況の把握

【方法】Microsoft Forms（アンケートフォーム、無記名式）

- ・ JRFUからチーム管理者宛メールにて、チーム内での展開を依頼
- ・ 支部協会からラグビー部の主務、学連・リーグの関係者に展開を依頼

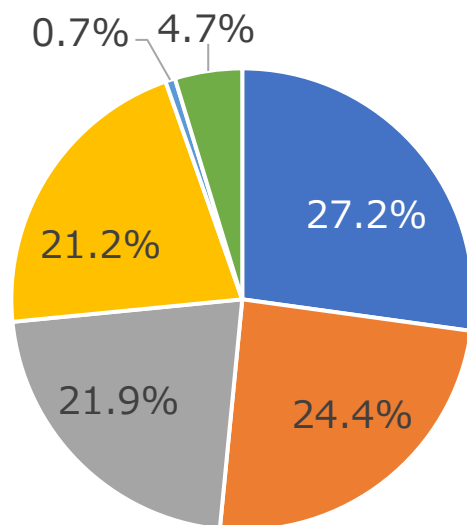
【URL】<https://forms.office.com/r/Q9HD3VkfZj>

大学ラグビーコンプライアンスアンケート結果

【回答】3,800人 ※ 以下、回答率は小数第3位を四捨五入

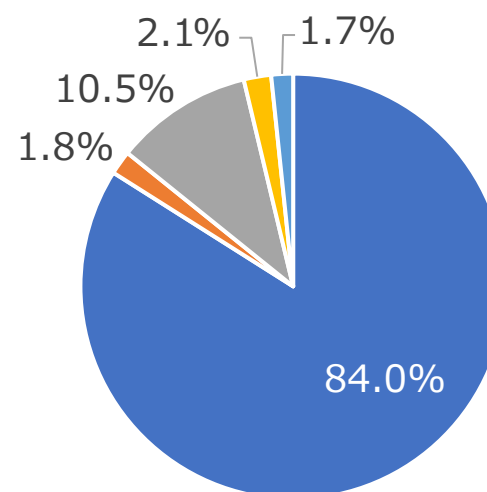
支部	登録者数	回答者数	回答率
関東協会	4,662	2227	47.8%
関西協会	3278	1332	40.6%
九州協会	750	241	32.1%
合 計	8,690	3,800	43.7%

【学年等】



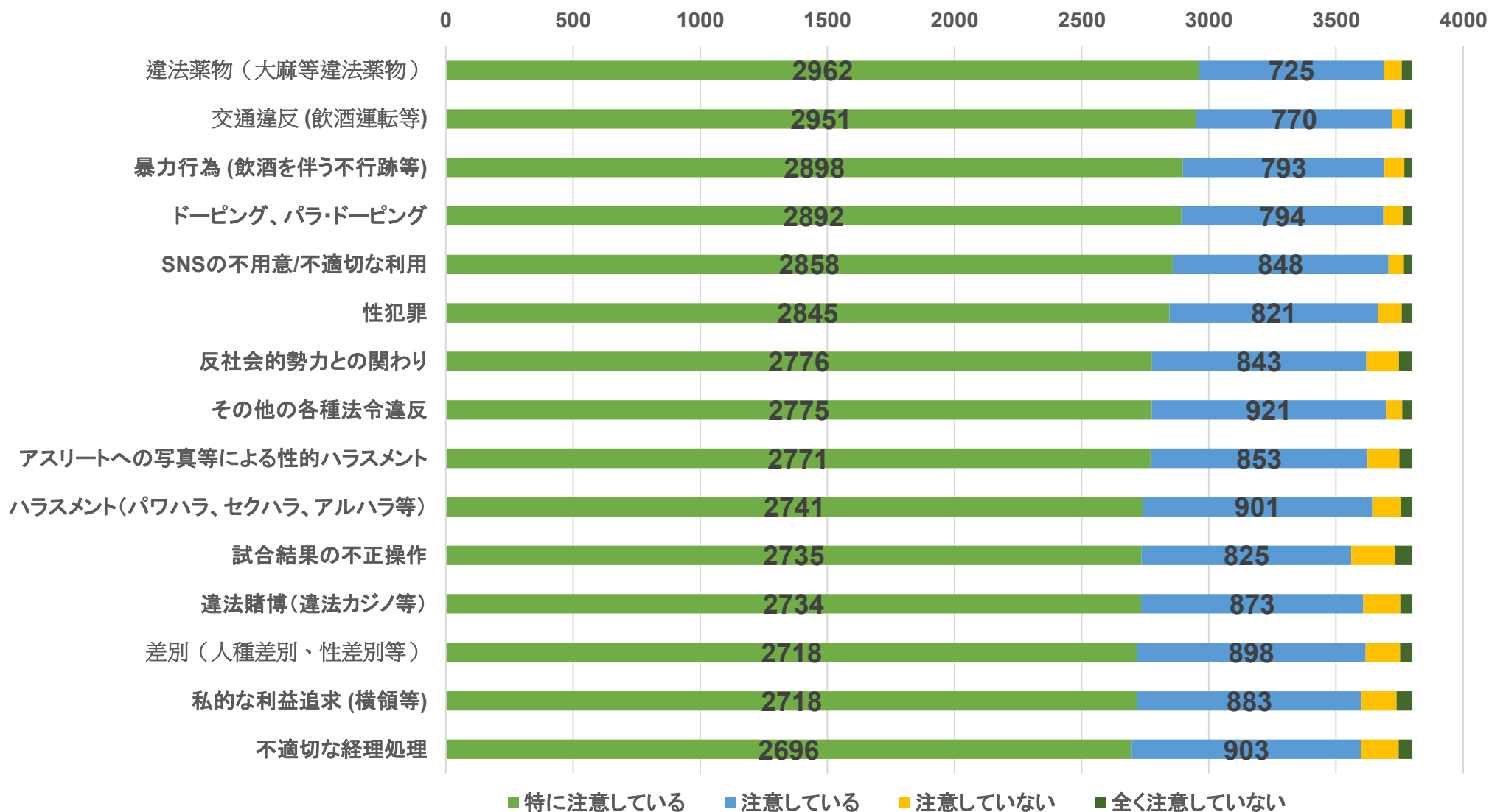
■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年生以上 ■ 学生以外

【属性】



■ プレーヤー ■ 監督・部長・代表 ■ コーチ以外のスタッフ ■ コーチ ■ その他

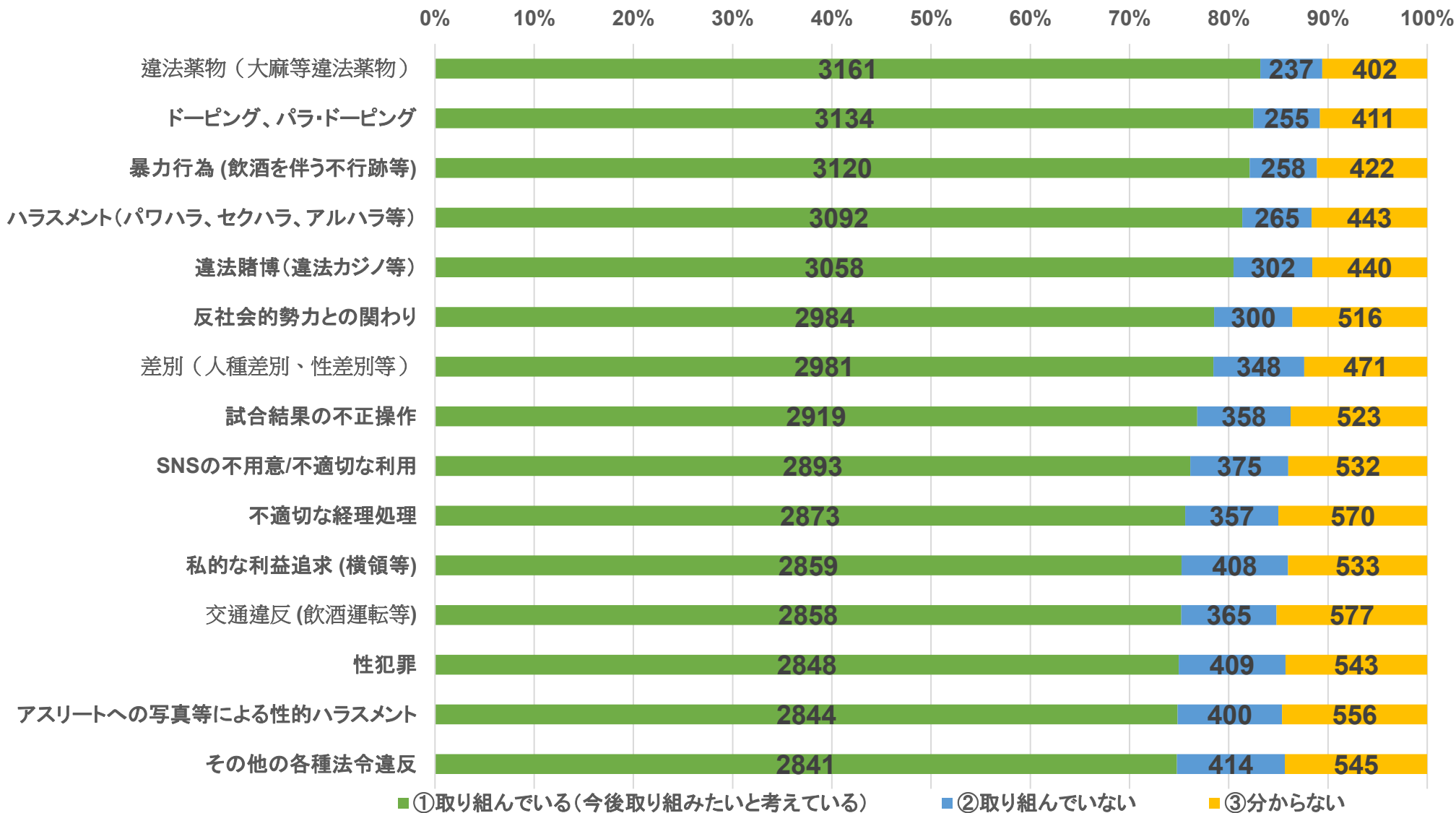
自チームで注意しているコンプライアンス事案について



自チームで注意しているコンプライアンス事案について

	2023年度	2024年度	2025年度
1位	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	交通違反 (飲酒運転等)	違法薬物 (大麻等違法薬物)
2位	SNSの不適切な利用	SNSの不適切な利用	交通違反 (飲酒運転等)
3位	違法薬物 (大麻等違法薬物)	違法薬物 (大麻等違法薬物)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)

自チームのコンプライアンス遵守取組み状況について



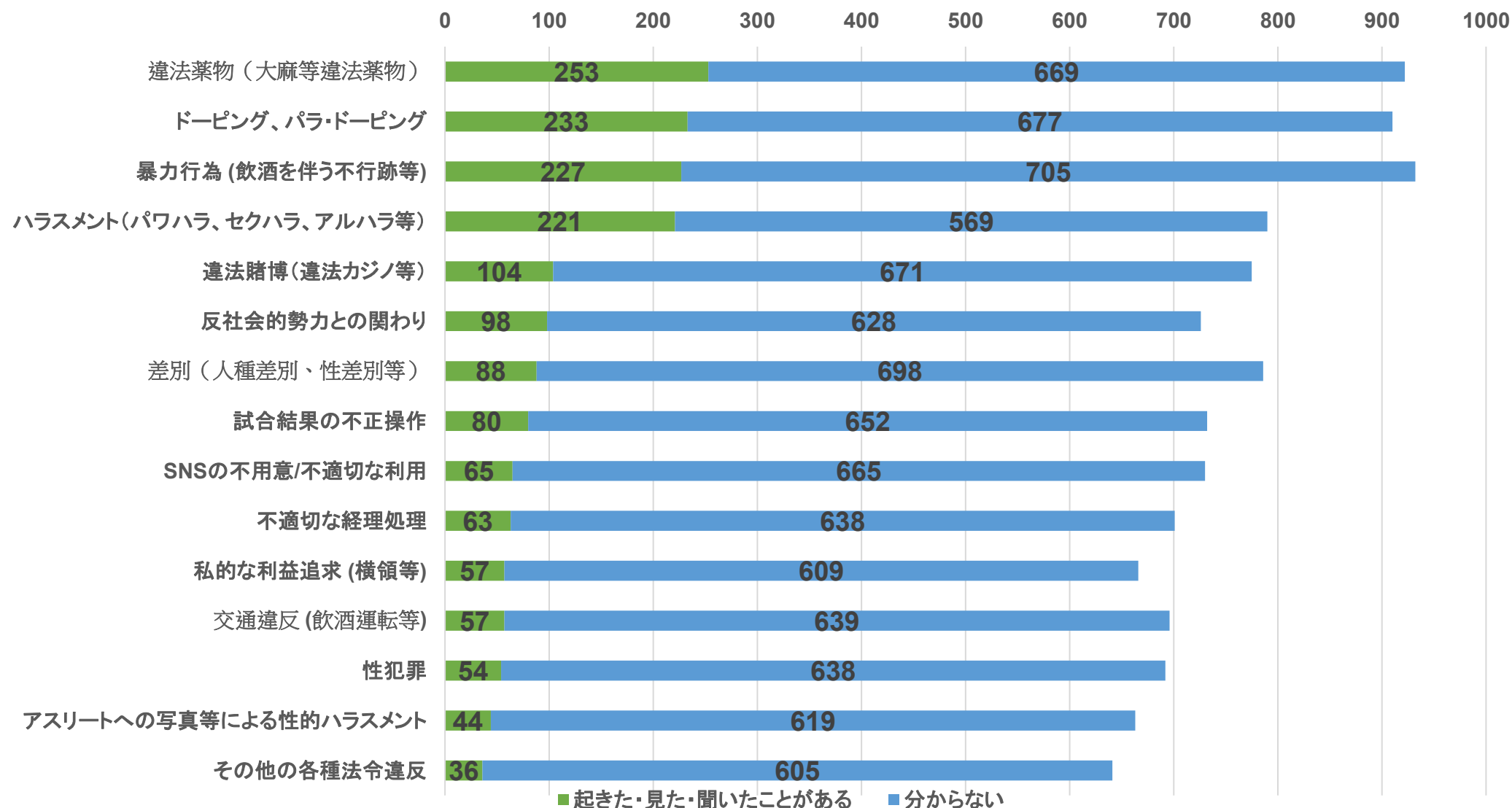
自チームのコンプライアンス遵守取り組み状況について

	2023年度	2024年度	2025年度
1位	ドーピング パラ・ドーピング	SNSの不適切な利用	違法薬物 (大麻等違法薬物)
2位	違法薬物 (大麻等違法薬物)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	ドーピング パラ・ドーピング
3位	SNSの不適切な利用	ドーピング パラ・ドーピング	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)

コンプライアンス遵守の具体的な取り組み内容について

- ・ ミーティングやグループディスカッション
(長期オフ前に意識統一を図る事例も多く見受けられた。)
- ・ グループラインや掲示物を使用した注意喚起
- ・ 講習会の受講(大学や警察・弁護士が実施しているもの等)
- ・ チーム規則の制定
- ・ 指導者からの適時適切な注意喚起
- ・ 匿名の告発制度の制定
- ・ 原因の排除(車での通学の禁止や寮内の不要物の撤去等)
- ・ 抜き打ち検査の実施(血液検査・尿検査等)

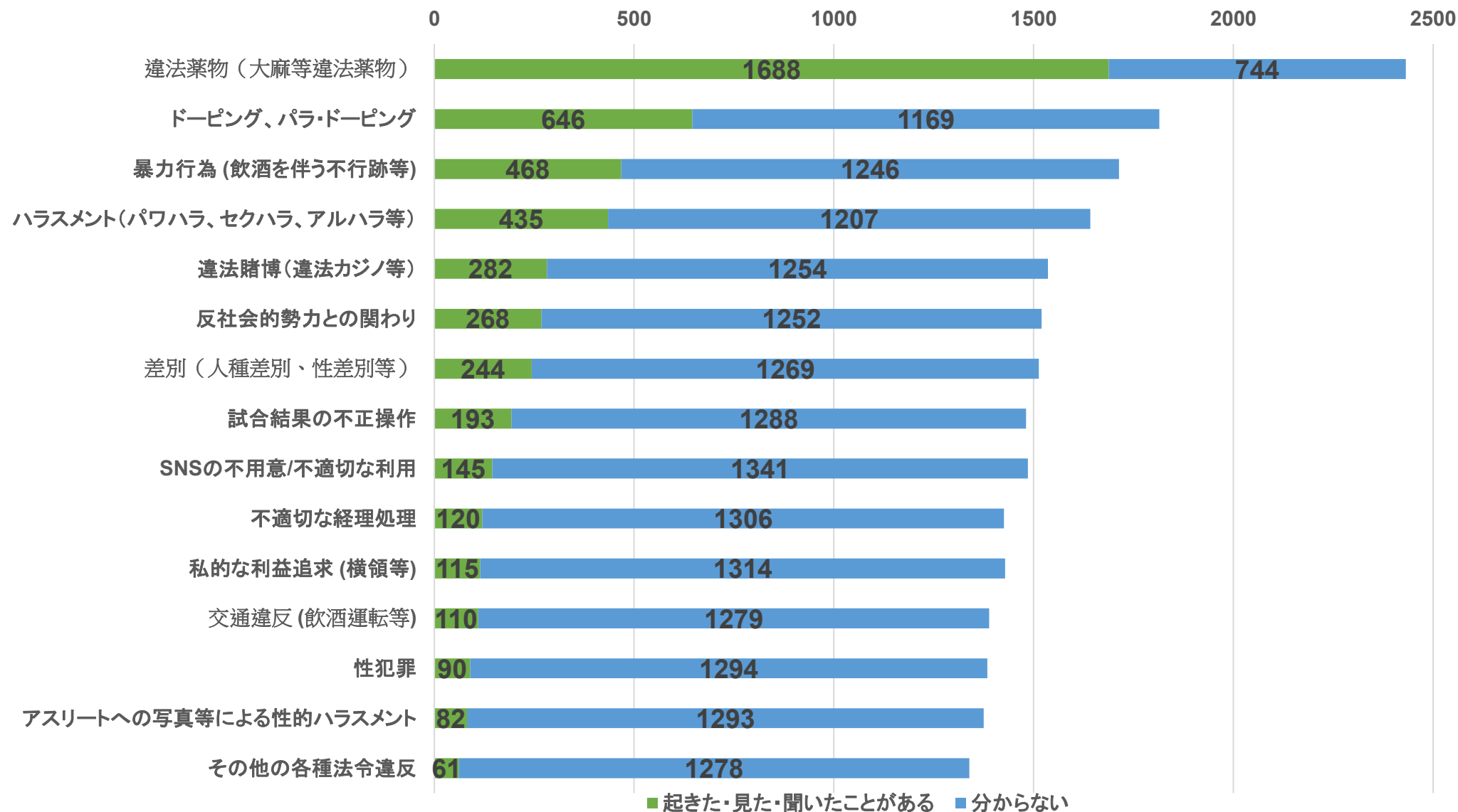
チーム内で過去3年以内に起きた・見た・聞いた コンプライアンス違反事案について



チーム内で過去3年以内に起きた・見た・聞いた コンプライアンス違反事案について

	2023年度	2024年度	2025年度
1 位	違法薬物 (大麻等違法薬物)	交通違反 (飲酒運転等)	違法薬物 (大麻等違法薬物)
2 位	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	ハラスメント (パワハラ等)	ドーピング パラ・ドーピング
3 位	ハラスメント (パワハラ等)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)

他チームで過去3年以内に起きた・見た・聞いた コンプライアンス違反事案について



他チームで過去3年以内に起きた・見た・聞いた コンプライアンス違反事案について

	2023年度	2024年度	2025年度
1 位	違法薬物 (大麻等違法薬物)	違法薬物 (大麻等違法薬物)	違法薬物 (大麻等違法薬物)
2 位	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)	ドーピング パラ・ドーピング
3 位	ハラスメント (パワハラ等)	ハラスメント (パワハラ等)	暴力行為 (飲酒を伴う不行跡等)

自チーム内におけるヒヤリハット事例

- ・ 未成年者の喫煙・飲酒
(未成年者の喫煙・飲酒報告が最も多かった。)
- ・ 喧嘩(試合や練習中を含む)
- ・ 無免許運転やスピード違反
- ・ 飲酒時の行動関係(騒ぐ・アルハラ・器物損壊・飲酒運転)
- ・ 道路交通法違反 (自転車の事例が目立った)
- ・ 夜間の騒音問題の発生
- ・ いじめ ・ 人種差別 ・ 性問題
- ・ 窃盗 ・ SNSの不適切利用 ・ 違法賭博

薬物問題について、所属チームや他チームにおいて実際に起きた・見た・聞いたことのある事例

- ● 大学や ▲ ▲ 高校における違法薬物に関する逮捕。
- ● 大学における大麻栽培。
- 海外遠征時の大麻使用
- 元部員や卒業生が薬物所持により逮捕された。
- 一緒にいた人物が違法薬物を所持していたため、一緒に警察に連行された。
- 大麻の吸引機が発見された。

暴力・ハラスメント等の各種問題について、所属チームや他チームにおいて実際に起きた・見た・聞いたことのある事例

【暴力・ハラスメント等】

- ・ 指導者による**暴言**や**暴力**等を含むパワハラ
- ・ 先輩から後輩に対する**いじめ**等
- ・ **喧嘩**（部員同士や試合中の他チームとの喧嘩も含む）
- ・ セクハラの発生（盗撮を含む）
- ・ 飲酒の強要等の**アルハラ**

【その他】

- ・ **SNSの不適切な利用**
- ・ 不適切な男女交際
- ・ 不適切な経理処理

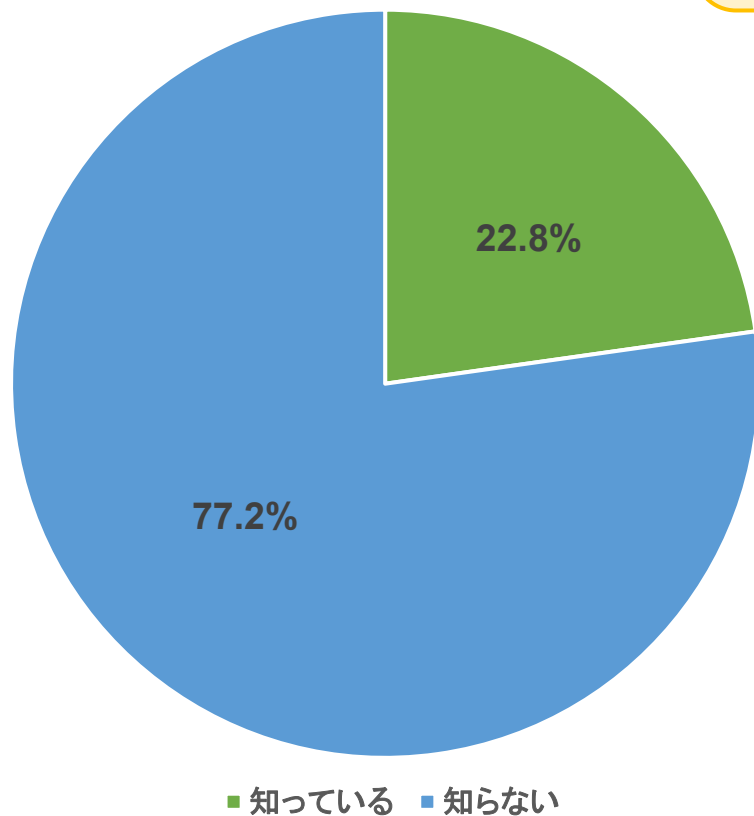
風通しのよいチーム（組織）作りのために、取り組んでいる事項について

- ・ 縦割り等の少人数グループを作ることにより、関係性を強化するとともに、意見の言いやすい環境を整える。(ブラザー制度等)
- ・ 報連相の徹底
- ・ 定期的なミーティングの開催や積極的なコミュニケーション
- ・ 1対1での対話や、監督・コーチ・スタッフと選手の対話の機会を作り、意見を言うことができる機会を作る。
- ・ チームルール等を作るとともに、学生間の強い上下関係を生まないように注意する
- ・ ポジションや学年に関わらず積極的にかかわりを持つ
- ・ オフフィールドでもかかわりを持つ

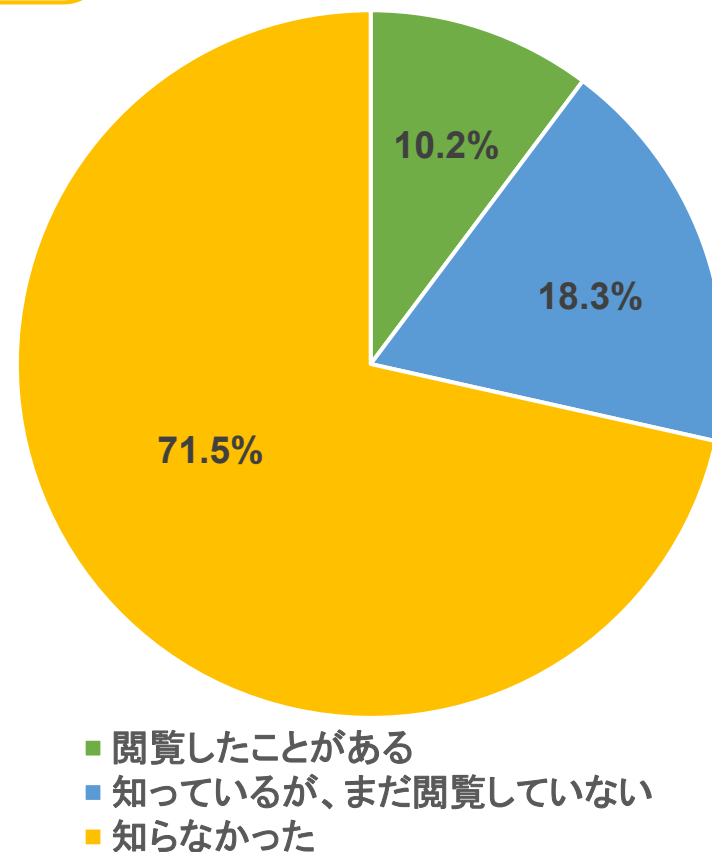
日本協会の取組みの認知度について

「インテグリティ相談窓口」、
「インテグリティ追求HP」
ともに認知度が低い。

インテグリティ相談窓口



インテグリティ追求HP



日本協会に対する意見や要望等（コンプライアンス遵守関連）

- ・ 抜き打ちの検査の実施(ドーピング検査を含む)
- ・ 寮に対する検査の実施
- ・ 他競技団体におけるコンプライアンス遵守の取り組みの共有
- ・ 平時からのコンプライアンスに関する注意喚起
- ・ 通報制度の拡充
- ・ コンプライアンス研修会等の定期開催
- ・ コンプライアンス違反を犯していない選手の保護